

<p><b>1974年</b></p> <p>一月二八日 財団法人・第五福竜丸保存平和協会設立認可</p> <p>二月一日 パンフレット「第五福竜丸は人類の未来を啓示する」</p> <p>二月二日 平和協会第一回理事会 保存委員会総会 保存平和協会披露式</p> <p>一月八日 協会理事、都知事と懇談</p> <p>一月二〇日 第二回新春風上げ大会</p> <p>三月一日 平和協会ニュース創刊</p> <p>五月二〇日 インド核実験に抗議する声明</p> <p>六月二日 平和教育シンポジウム参加</p> <p>六月一三日</p>		<p><b>1973年</b></p> <p>一月二八日 財団法人・第五福竜丸保存平和協会設立認可</p> <p>二月一日 パンフレット「第五福竜丸は人類の未来を啓示する」</p> <p>二月二日 平和協会第一回理事会 保存委員会総会 保存平和協会披露式</p> <p>一月八日 協会理事、都知事と懇談</p> <p>一月二〇日 第二回新春風上げ大会</p> <p>三月一日 平和協会ニュース創刊</p> <p>五月二〇日 インド核実験に抗議する声明</p> <p>六月二日 平和教育シンポジウム参加</p> <p>六月一三日</p>	
<p><b>1975年</b></p> <p>一月一九日 第三回新春風上げ大会</p> <p>二月二日 第五福竜丸を東京都へ寄付</p> <p>二月一九日 展示館建設に伴う福竜丸移転工事に着手</p> <p>三月二〇日 核実験抗議船フリー号・デーム船長ら、福竜丸を見学</p>		<p><b>1974年</b></p> <p>一月一九日 第三回新春風上げ大会</p> <p>二月二日 第五福竜丸を東京都へ寄付</p> <p>二月一九日 展示館建設に伴う福竜丸移転工事に着手</p> <p>三月二〇日 核実験抗議船フリー号・デーム船長ら、福竜丸を見学</p>	
<p><b>1976年</b></p> <p>五月二九日 第四回新春風上げ大会</p> <p>五月二九日 久保山愛吉記念碑除幕式</p> <p>五月三一日 「ビキニ水爆被災資料集」出版記念会</p> <p>六月五日 第五福竜丸展示館完成祝賀会</p> <p>六月一〇日 第五福竜丸展示館開館</p> <p>九月二三日 九・三第五福竜丸記念集会</p> <p>一〇月二八日 第一回ビキニ事件と福竜丸</p>		<p><b>1975年</b></p> <p>五月一八日 第五福竜丸を美しくする集いを開催</p> <p>五月三〇日 第五福竜丸報告懇親会</p> <p>八月一日 パンフレット「第五福竜丸」</p> <p>九月二二日 第五福竜丸展示館起工式</p> <p>九月二三日 久保山愛吉追悼式</p> <p>一月一八日 第四回新春風上げ大会</p> <p>五月二九日 久保山愛吉記念碑除幕式</p> <p>五月三一日 「ビキニ水爆被災資料集」出版記念会</p> <p>六月五日 第五福竜丸展示館完成祝賀会</p> <p>六月一〇日 第五福竜丸展示館開館</p> <p>九月二三日 九・三第五福竜丸記念集会</p> <p>一〇月二八日 第一回ビキニ事件と福竜丸</p>	
		<p><b>1976年</b></p> <p>一月七日 来館者一万名突破</p> <p>二月一〇日 第二回ビキニ事件と福竜丸を知る集い</p> <p>二月一七日 平和協会三周年記念拡大評議員会</p>	

# 平和協会五年のあしどり

# 福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2  
都立・第五福竜丸展示館内  
電話 (521) 8494

## ビキニ水爆被災事件 25周年 第五福竜丸保存運動 10周年 記念特集号

一九七九年

# 年頭のご挨拶

会長 三宅 泰雄

新年おめでとう存じます。本協会も今年で満六歳を迎え子供でいえば、よちよち歩きの時期を終え、小学校に入る年ということになりました。おかげ様で、第五福竜丸展示館には、開館以来わずか二年半で十万人もの来館者がありました。これは予想外の好成績でしたが、十万人の人に、改めて平和と核兵器廃絶について考えてもらったことは大きい成果だったといえます。

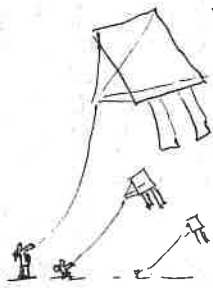
今年も引きつづき、この成果がさらに拡大することをのぞんでいます。私たちは、これからの協会の新事業として、資料館の建設を計画しています。この資料館には、ビキニ水爆関係の資料をもれなく集めて、平和思想の普及

と、研究に役立てようと考えています。すでにこの方面の専門家との間で懇談を重ね、貴重なご意見を承っています。もちろん、資料館をつくることは大事業であり、敷地の入手、建築のための費用だけでも、数億円にのぼるでしょう。このためには、広汎な募金活動をする必要もあ

りましょう。いづれにせよ、多くの人々に、本協会を知って頂き、本協会を助けていただくなければ、どんな事業もできるわけのものではありません。こんごとも、ますます本協会をご支援下さるようお願いして、新年のごあいさつといたします。

## 79 新春風あげ大会

一月十四日(日) 午前十一時  
夢の島公園多目的コロシウム  
参加費・無料  
風のコンクール(参加自由)  
優秀なものに賞状・賞品・全参加者に記念品贈呈  
主催 (財) 第五福竜丸平和協会  
後援 東京都・江東区役所



### この一年を協会活動の新しい発展のために

専務理事 広田重道

一九七八年は、平和協会の活動の大きな部分を占める都立・第五福竜丸展示館の運営に、多大の成果をあげています。それは二年半の通算来館者数が十万をこえたことに端的に示されていますが、展示内容その他サービスマスの改善も進められています。

また、展示館をめぐる新春風上げ大会、三・一ビキニデー記念集会、九・二三記念集会の開催、ビキニ事件と福竜丸を知る集いなど協会の自主的活動もさかんとなっていきます。とくに、月刊「福竜丸だより」の発行は各方面から好評を得ています。

いささか気がかりなのは、資料館建設が、主として土地取得の上で意外に大きな障害に会い、前進できないことです。

新しい年を迎えるに当たって、これまで得てきた成果はそのまま発展させるとともに、さらに

展示館のいっそうの充実とその存在の大衆化のために、倍旧の努力を決意します。

さらに、ことしこそは、原水爆資料館の建設に大きく道をひらくために、少くも建設予定地の確定をゼヒとも達成したいと思います。

一九七九年よ、飛躍の年であれ、実り多い活動の年であれ、と心から叫ばずにはいられませぬ。

#### 本年度

#### 賛助会員の現状

十二月中旬の中間報告

本年度(一九七八年度)  
の賛助会員の現状は次の通りです。

会員総数 一四二名  
納入会費(五八一〇〇〇)  
未納会費(三三四〇〇〇)

### 79年の新春を迎えて

理事 神崎清

今年の第五福竜丸展示館は、おそらく一〇万人の万台をこえるでありましょう。見学者の加速度的大増加は、夢の島の展示館が、たんに定着したばかりでなく、地域社会に根を張ってきたからだと思います。

一月四日には、恒例の風あげ大会がもおされます。今のせまい東京で、「天まであがれ」と、自由に風をとばせるのは、ひろい夢の島が最適地の一つでしょう。思いきり、たのしくみんなであそんでください。

三月一日のビキニ・デーは、ちょうどビキニ水爆被災から二五周年の記念日にあたるので、死の灰の恐怖から、核廃絶に本質的に迫っていく威大で影響力の深い集会をもちたい、と思います。会場・規模・内容等については、内部でいろいろ検討を重ねていますが、関心のある方のご意見を歓迎いたします。



ご承知のとおり、都財政が困難をきわめておるので、資料館の開設問題も行き悩んでいます。なんとかして新しい活路を見つけるつもりです。さらに、今年には国連児童権利宣言実現のための「国際児童年」なので、日本および世界の子どもの人権と未来を保障しなくてはならないので、ぜひとも静かな平和教育の場として第五福竜丸展示館を活用していただきたいし、また平和協会としても、国際的な連帯の輪を大きくひろげていくことになるでしょう。

### 来館者の声から

#### 声から



私の父は長崎で原爆をうけ、そのため身体中がむくみ、しばらく具合が悪かったことがあります。それで原爆の恐ろしさは人一倍に知っています。

前に広島に行き、記念館を見学し深い感銘をうけ、今日そばを通ったので見にきて、二度とこんなことのないようにと思いました。

大学のゼミで、先生になりたい〃を読み、第五福竜丸がここにあることを知りました。この本は平和教育の実践の本ですが教育のなかで平和の大切さを子どもたちに教えていくことの大切さを感じさせています。

私たちにとって戦争・原爆という問題は過去のものではなく、現在、未来のものなのです。今日、ここにきて、とてもよかったですと思っています。

一橋大学三年生  
許せない、許せない、原水爆などは……腹がたつて仕方がない。  
電々公社 S生



### 「水爆被災資料集」の

#### 新しい普及の年に

理事 田沼肇

今年、ビキニ水爆被災二五周年にあたり、第五福竜丸にとって、ひとつの歴史的な区切りを迎えたように思われます。そして、保存運動にも、新たな飛躍が期待されているのではないのでしょうか。それにつけても、ビキニ水爆被災の全体像を、多くの人びとが正しくつかむことは、ますます重要性をおびてきました。この事件は、よく知られているようで、あんがい皮相な理解しか得られていない面があります。

第五福竜丸平和協会が編集し一九七六年に東大出版会から刊行された『ビキニ水爆被災資料集』は、事件の全体像をつかむために役立つ、決定的な文献といつてよいでしょう。ビキニ水爆被災二五周年を迎えて、わたしは、この資料集の再普及運動を提唱したいと考えます。残部

が、まだかなり多数、倉庫にねむったままだと聞いており、このままの状態では、第五福竜丸も安心できません。

『ビキニ水爆被災資料集』は事件の背景と、実験の影響に関する詳細な記録、第五福竜丸と乗組員の被災をめぐる具体的状況、またビキニ水爆被災にたいする内外の反響を、文学・芸術の領域まで含めて、広範に記録しています。さらに、第五福竜丸保存運動の歩みや、この事件をきっかけとする原水爆禁止運動のありかについても、貴重な資料が紹介されています。

ぜひ、みなさんが、この資料集を、新しい年の読書プランに加えてくださるよう、願ってやみません。



<p><b>服部 学</b> 〒238 横須賀市馬堀海岸 四一―一―二―三〇三</p>	<p><b>平野 義太郎</b> 〒108 港区白金四―七―三</p>	<p><b>松本 広治</b> 西宮市石制町一三一―一八</p>	<p><b>山口 勇子</b> 品川区北品川三―七―三四 一八〇二</p>	<p>日本ベトナム友好協会 <b>神立 誠</b> 千代田区南三―四―一四 エハラビル</p>
<p><b>大沢 三郎</b> 〒142 品川区豊町三―四―五</p>	<p>草の実会 <b>斎藤 鶴子</b> 〒164 中野区上高田 一―三九―一四</p>	<p>福岡県原水協会長 <b>白井 正</b> 柳川市柳町八</p>	<p>原水爆資料センターへの 飛躍の年に <b>林 茂夫</b> 小平市上水本町一四三五</p>	<p>ノー・モア・ヒバクシャノ アリス・ハース平和基金代表 <b>芝田 進午</b> 〒162 新宿区戸山町三七</p>
<p>日本共産党東京都議会議員 <b>塩田 庄兵衛</b> 京都市左京区田中関田町二―七 鴨東ロイヤルハイッツ七〇六</p>	<p>春潮に 語りつづけよ福竜丸 <b>佐々木 千代松</b> 川崎市多摩区登戸二二七四</p>	<p><b>自治労静岡県本部</b> 静岡市南町一六―二三 県評会館</p>	<p><b>新日本婦人の会</b> 新婦人しんぶん 東京都千代田区神田保町一―三六 れいめいビル 電話 〇三(二九三)〇五八一―七七</p>	<p><b>日本平和委員会</b> 会長 小笠原 英三郎 東京都港区芝一―四―一九 平和会館 電話 〇三(四五二)六二七七番</p>
<p>日本社会党衆議院議員 <b>岩垂 寿喜男</b></p>	<p><b>住田 梅太郎</b> 世田谷区上北沢四―一〇―一八</p>			

<p>ピキニ水爆被災事件二五周年 第五福竜丸保存運動一〇周年 <b>祝 新春記念号</b></p>		<p>津田塾大学教授 <b>江口 朴郎</b> 藤沢市鶴沼二四八六</p>	<p>明治大学教授 <b>柴田 政利</b> 国立市富士見台三―一七―三 一十一―五〇九</p>
<p>日本学術会議会員 原子力平和特別委員会幹事 <b>中島 篤之助</b> 茨城県那珂郡那珂町首谷二九四一 一―八五 かしま台団地二の五号</p>	<p>核戦争への準備は、私たち日本人が意識しないだけで、どんどん進行している。そのことをもう一度考えよう。 <b>伏見 康治</b> 横浜市港北区太尾町九四一 大倉山ハイム二―八〇三</p>	<p>NGO日本宗教者連絡会議 立正平和の会 <b>近江 幸正</b> 〒146 大田区池上一―九―四〇 妙雲寺 田 〇三―七五二―六五八七</p>	<p>国際児童年にあたって、平和教育の偉大な第五福竜丸に栄光を！ <b>楠田 ふき</b> 中野区白鷺二―四―一―</p>
<p>東京都豊島区目白二―三六―一―三 <b>全国商工団体連合会</b> 会長 内田 昌伯 電話 〇三(九八七)四三九一</p>	<p>映画「子育てごっこ」「ちひろの四季」 一月二〇日よりロードショー 日比谷映画街千代田劇場 株式会社 独立映画センター 港区新橋三―一六―二 大洋ビル 電話 〇三(四三二)八六三二</p>	<p>東京都千代田区一ツ橋二―六―二 日本教育会館 <b>東京都教職員組合</b> 電話 (二三〇) 三八九一―八</p>	<p>東京都中野区中央二―一―一七 電話 〇三(三七七)七二六一</p>

### ブームの展示館の集団見学

去る十一月二十八日は、私どもの第五福竜丸平和協会が、財団法人に認可されてから、満五年目の記念日でした。

平和協会は誕生いらい東京都に陳情に陳情を重ね、七四年春江東区夢の島に都立第五福竜丸展示館の建設が決定されるにいたりました。

かくて第五福竜丸展示館は七四年秋に着工、翌七五年六月に完成、六月一〇日から開館されました。

平和協会は、この展示館の落成に先立ち、展示館の前の広場に久保山愛吉記念碑(原水爆禁止の碑)を大衆募金によって建設しましたが、有名な久保山愛吉氏の遺言「原水爆の被害者はわたしを最後にしてほしい」が彫りつけられていて、展示館に魂を入れているかのようにドックンと坐っています。

展示館は、開館当初は、江東区の南端の都バスも通らない草

原のまん中で、果して来観者があるのかと心配する人もありました。その心配をよそに、第一年度(七六年六月一〇日〜七七年六月九日)は通算二九、七〇三人、第二年度(七七年六月一〇日〜七八年六月九日)は四四、九〇〇人、第三年度は六月一〇日から十一月末までで二三、〇七八人となりました。

以上の状況から近く一〇万人達成の声がありますが、いまこそ積極的な見学運動をくりひろげることが大切です。

—第三年度団体見学名簿—

東京都職員研修所、この指とまれ、まなべ幼稚園、中野区清掃工場見学団、ボーイスカウト東京第四団、ガールスカウト東京第五〇団・第八三団、江東区広報課見学団、南砂小学校三年、大塚小学校四年、塩浜児童館、豊島区長崎保健所、南砂町保育

園、辰巳学童保育クラブ、日本国際学生協会、新日本婦人の会、武蔵野支部、東京観光バスガイド、辰己小学校、一の江中央子供会、東京都ユースホステル協会、豊洲児童館、東和企業組合、矢口中学校、南砂三丁目自治会、深川第二中学、南部公園緑地事務所、大島保育園、東砂小学校二年、横浜市従業員労働組合、東陽保育園あひる組、荏原製造KK、群馬県平和評議会、都職労本部婦人部、南砂保育園年長組、東京都清掃局、神明小学校、八王子市立上館小学校、横浜市妙香寺、第一大島小学校、水谷東小学校、第六砂町小学校、上板橋第四小学校、高井戸東小学校、杉並区清掃事業協力会、砂町小学校六年・五年、第三大島小学校二年、第七砂町小学校、西新井小学校、三谷小学校、東洲小学校、第四大島小学校三年、矢口小学校六年、稲毛第五小学校、豊洲小学校三年、白河小学校三年。以下略。

### 編集後記

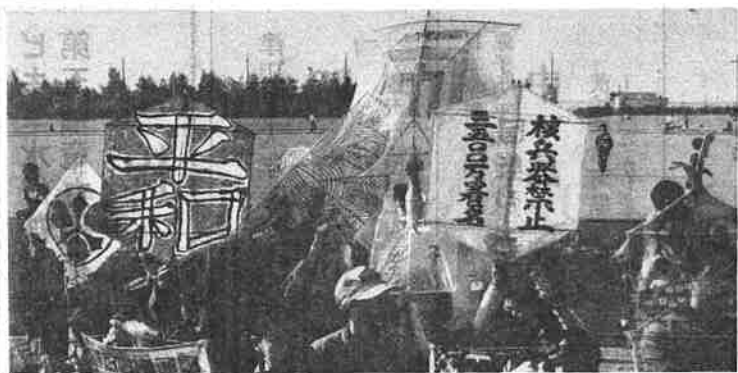
■新年はメデタイという。本当にメデタイかどうかは門松は迷途の旅の一里塚 めでたくもありめでたくもなし」という一休和尚の歌のとおり、定めがたいかも知れない。だが、新年は心を新たにすよいチャンスであることには、異論はなさそうである。

■一年のうち、多かれ少なかれ失敗はある。多少の悔いを感じないひとは少ないと思う。その失敗、悔いをのりこえて、勇気を新たに前進するためのキッカケが年のはじめである。そう思えば、新年オメデトウという挨拶も、自然に出てくる。

■三宅会長が巻頭の挨拶で述べられているとおり、私どもの平和協会も満六年を迎え、やっと幼年期から少年期に入ろうとしている。その最初の新年を迎えているので、協会も張り切らざるを得ないが、本紙も倍旧のご愛読を目ざして努力したい。(H)

1977年

- 一月一六日 第五回新春風上げ大会
- 二月一八日 第三回ビキニ事件と福竜丸を知る集い
- 二月二七日 第五福竜丸記念集会
- 二月二六日〜三月三一日 三・一ビキニデー記念写真



1977年

- 特別展示
- 三月二五日 保存委員会解散声明
- 四月一二日 保存委員会役員知事室訪問
- 五月一三日 第四回ビキニ事件と福竜丸を知る集い
- 五月一四日 統一原水禁世界大会をめざす国民平和行進福竜丸前出発
- 六月七日 展示館開設一周年記念集会
- 六月一二日 来館者三万人突破
- 八月一七日 第五回ビキニ事件と福竜丸を知る集い
- 九月一八日 久保山すずさん来館
- 九月二三日 九・二三記念集会
- 一〇月二七日 第六回ビキニ事件と福竜丸を知る集い
- 一一月一八日 来館者五万人突破
- 一二月一六日

1978年

- 第七回ビキニ事件と福竜丸を知る集い
- 一月一五日 第六回新春風上げ大会
- 二月八日 第八回ビキニ事件と福竜丸を知る集い
- 三月一日 ビキニデー記念の夕べ
- 三月二九日 第九回ビキニ事件と福竜丸を知る集い
- 四月一五日 月刊「福竜丸だより」創刊
- 四月一七日 三宅泰雄会長古稀祝賀会
- 五月六日 来館者七万人突破
- 五月二三日 平和協会役員知事室訪問
- 五月二五日 第一〇回ビキニ事件と福竜丸を知る集い
- 六月一〇日 展示館開館二周年見学と懇談の集い
- 七月二一日

1978年

- 第一一回ビキニ事件と福竜丸を知る集い
- 八月一・二日 78世界大会東京国際会議に広田専務理事が出席
- 八月五・六日 78世界大会広島大会に鹿田事務局長が出席
- 九月七日 原水爆資料館建設懇談会
- 九月二三日 九・二三追悼記念集会
- 一〇月一八日 第一二回ビキニ事件と福竜丸を知る集い
- 一〇月二四〜三〇日 「原爆記録展」にビキニ関係資料を提供
- 一〇月三一日 第二回原水爆資料館建設懇談会
- 一一月二九日 平和協会創立五周年記念夕食会

